



毎日、発明する会社

2018年4月期

通期決算説明資料

フリービット株式会社

2018年6月8日

1. 2018年4月期 通期連結業績 . . . 3
2. 2018年4月期 通期セグメント別業績及び事業進捗 . . . 17
3. 2019年4月期 業績予想 . . . 32

資料内略称について

| 略称 | 社名及び説明 |
|-------|----------------------------|
| FB | フリービット(株)=当社 |
| FBG | フリービットグループ |
| DTI | (株)ドリーム・トレイン・インターネット=完全子会社 |
| FBEPH | (株)フリービットEPARKヘルスケア=子会社 |
| FIV | フリービットインベストメント(株)=完全子会社 |
| IJK | (株)医療情報基盤=完全子会社 |
| TM | トーンモバイル(株)=持分法適用関連会社 |
| FS | (株)フルスピード=東証マザーズ上場の子会社 |
| FSG | フルスピードグループ |
| FI | (株)フォーイト=(株)フルスピードの完全子会社 |
| CR | (株)クライド=(株)フルスピードの完全子会社 |
| GP | (株)ギガプライズ=名証セントレックス上場の子会社 |
| GPG | ギガプライズグループ |
| FM | (株)フォーメンバーズ=(株)ギガプライズの子会社 |
| ESP | 旧(株)ESP。現在はGPが吸収合併 |

| 略称 | セグメント名 |
|-----|------------|
| BB | ブロードバンド事業 |
| MB | モバイル事業 |
| AD | アドテクノロジー事業 |
| CL | クラウド事業 |
| HT | ヘルステック事業 |
| ETC | その他 |

1. 2018年4月期 通期連結業績

| (単位：百万円) | 18年04期 通期実績 | 17年04期 通期実績 | 増減額 | 増減率 |
|---------------------|-----------------|----------------|---------|--------|
| 売上高 | 38,653 | 35,222 | +3,431 | +9.7% |
| EBITDA | 3,221 | 2,513 | +707 | +28.2% |
| 営業利益 | 1,851 | 1,321 | +530 | +40.1% |
| 経常利益 | 1,426 | 807 | +618 | +76.6% |
| 親会社株主に帰属 する当期純利益 | △ 567 | △150 | △416 | — |
| 1株当たり純利益 | △ 25円56銭 | △6円77銭 | △18円79銭 | — |

**2018年4月期通期連結業績は、前期比で売上高9.7%増
マンションインターネット及びアドテク事業の堅調な推移により営業利益40.1%増**

- ・売上高：マンションインターネット及び新規事業の開始により増収
- ・営業利益：4Qは過去最高四半期営業利益を達成
- ・経常利益：営業利益増等により、前期比76.6%増
- ・親会社株主に帰属する当期純利益：法人税増及び減損損失発生により減



連結業績

- ・ 営業利益は前期比40.1%増を達成
- ・ 4Qは過去最高四半期営業利益を達成
- ・ マンションインターネットは増収増益を継続し、関連サービスの拡充に向けて積極的に業務提携及び投資を実施
- ・ ヘルステック事業及びマンションインターネットの売上増加に伴い売上高は前期比9.7%増を達成



ブロードバンド事業

- ・ マンションインターネット及び光コラボ施策が堅調に推移し前期比で増収増益を達成



アドテクノロジー事業

- ・ アフィリエイト・プラットフォームとDSP広告が堅調に推移したことに加え、ソーシャルメディアマーケティングの運用サービスが好調に推移したことで増収増益を達成

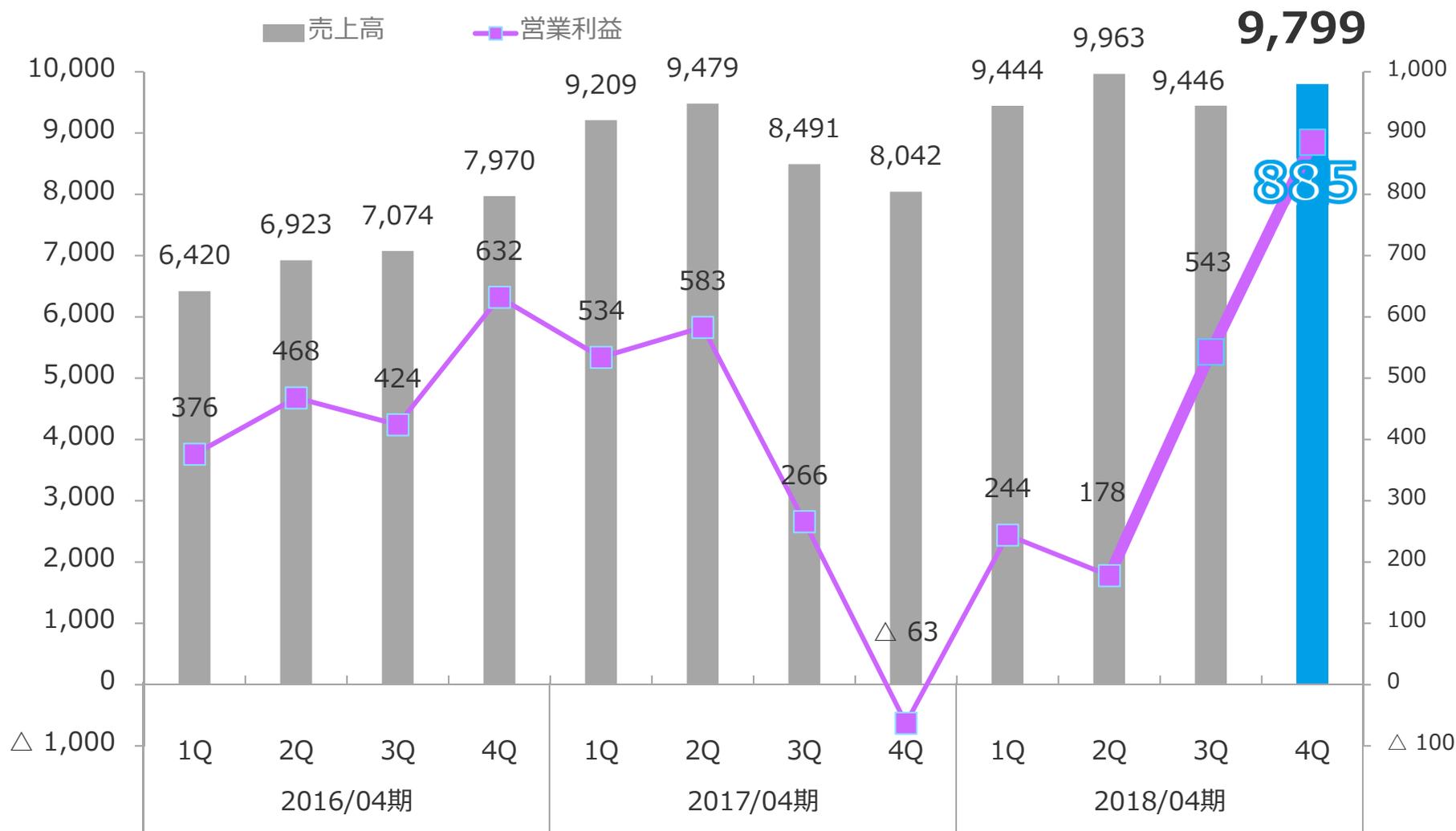


ヘルステック事業

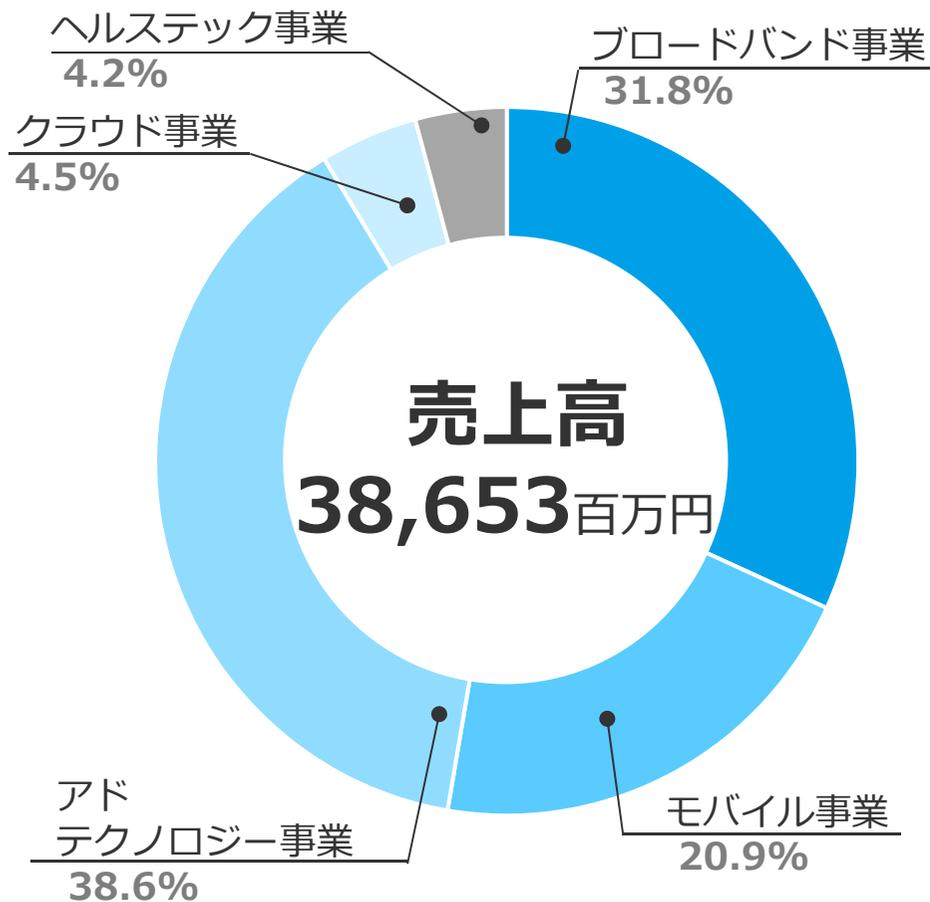
- ・ 売上高は順調に推移。フリービットEPARKヘルスケアは、当第3四半期に続き当連結会計期間(4Q)においても黒字を達成

過去最高の四半期営業利益を達成

(単位：百万円)



ブロードバンド事業・アドテクノロジー事業が増収を牽引

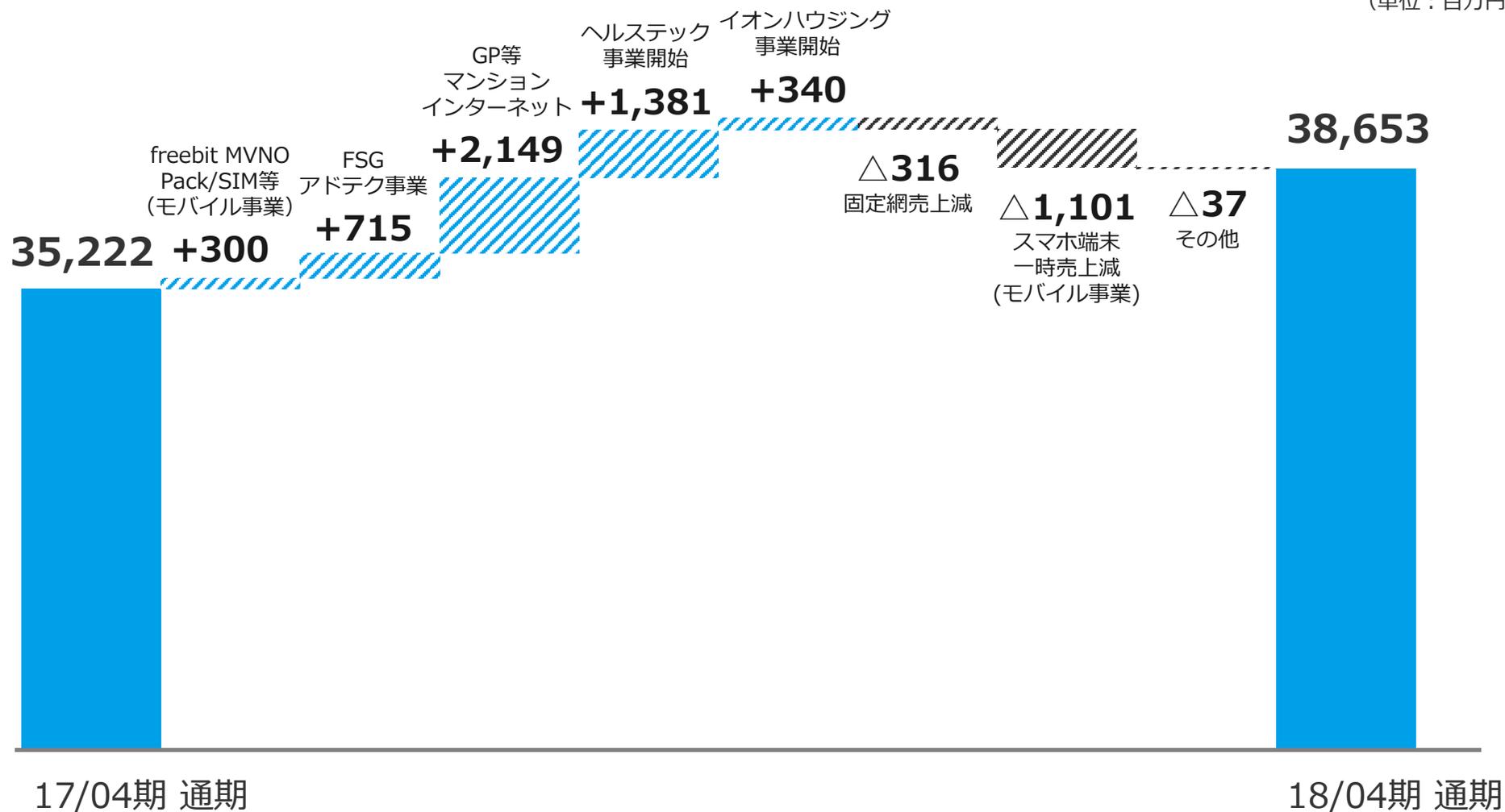


| 売上高 | セグメント損益 |
|---------------------------------|--------------------------------|
| ブロードバンド事業 | |
| 12,393 百万円 YoY +23.1% | 2,007 百万円 YoY +18.5% |
| モバイル事業 | |
| 8,115 百万円 YoY Δ 9.0% | Δ 268 百万円 YoY +21百万円 |
| アドテクノロジー事業 | |
| 15,016 百万円 YoY +5.1% | 1,288 百万円 YoY +53.4% |
| クラウド事業 | |
| 1,759 百万円 YoY Δ 11.9% | 4百万円 YoY Δ 97.6% |
| ヘルステック事業 | |
| 1,636 百万円 | Δ 527百万円 |

※ヘルステック事業については、事業開始が前第3四半期のため、前年同期（累計）との比較は省略

マンションインターネット及びアドテクノロジー事業の堅調な推移とヘルステック事業開始により前期比9.7%増

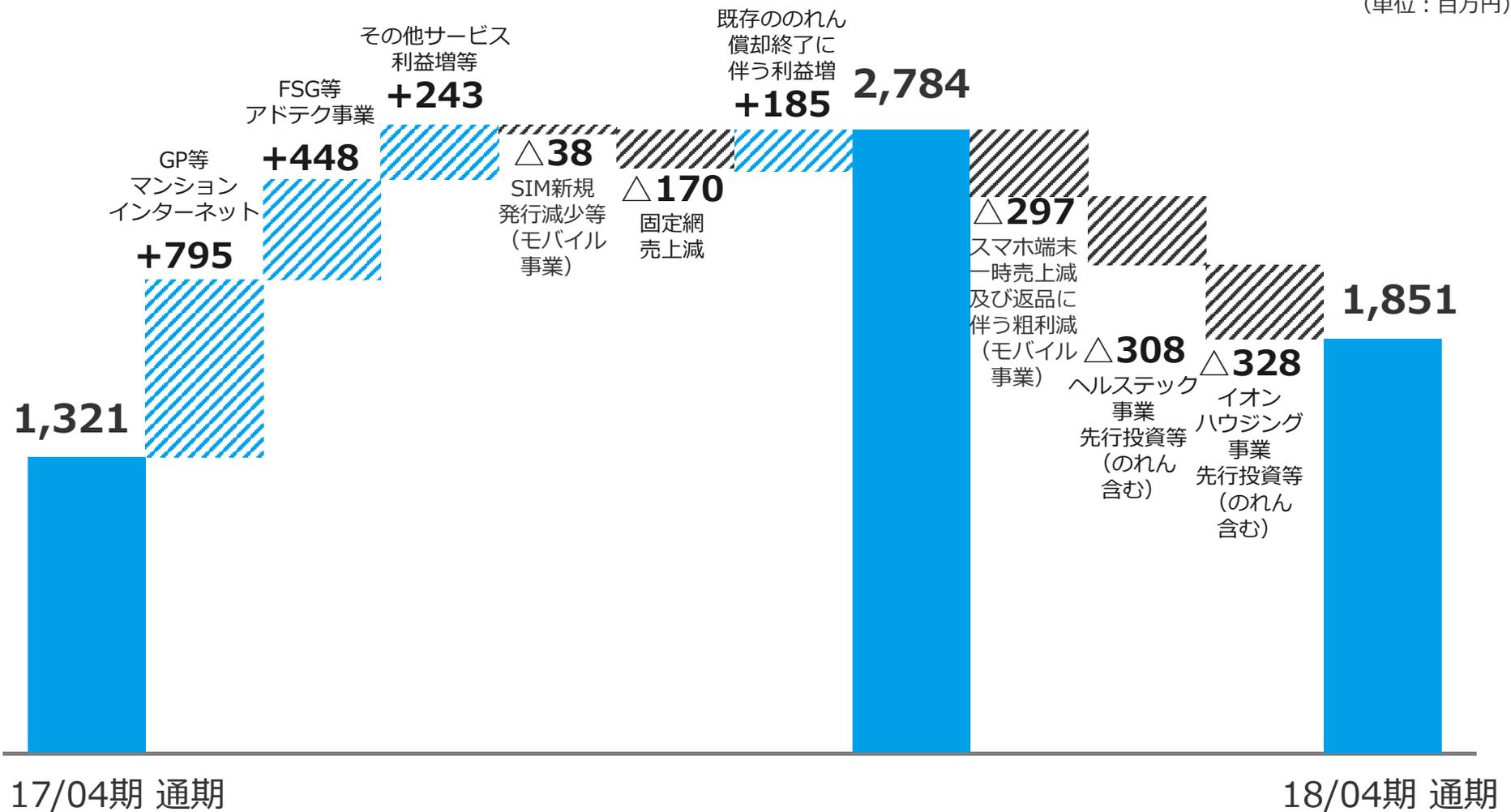
(単位：百万円)



前期比差異分析 営業利益

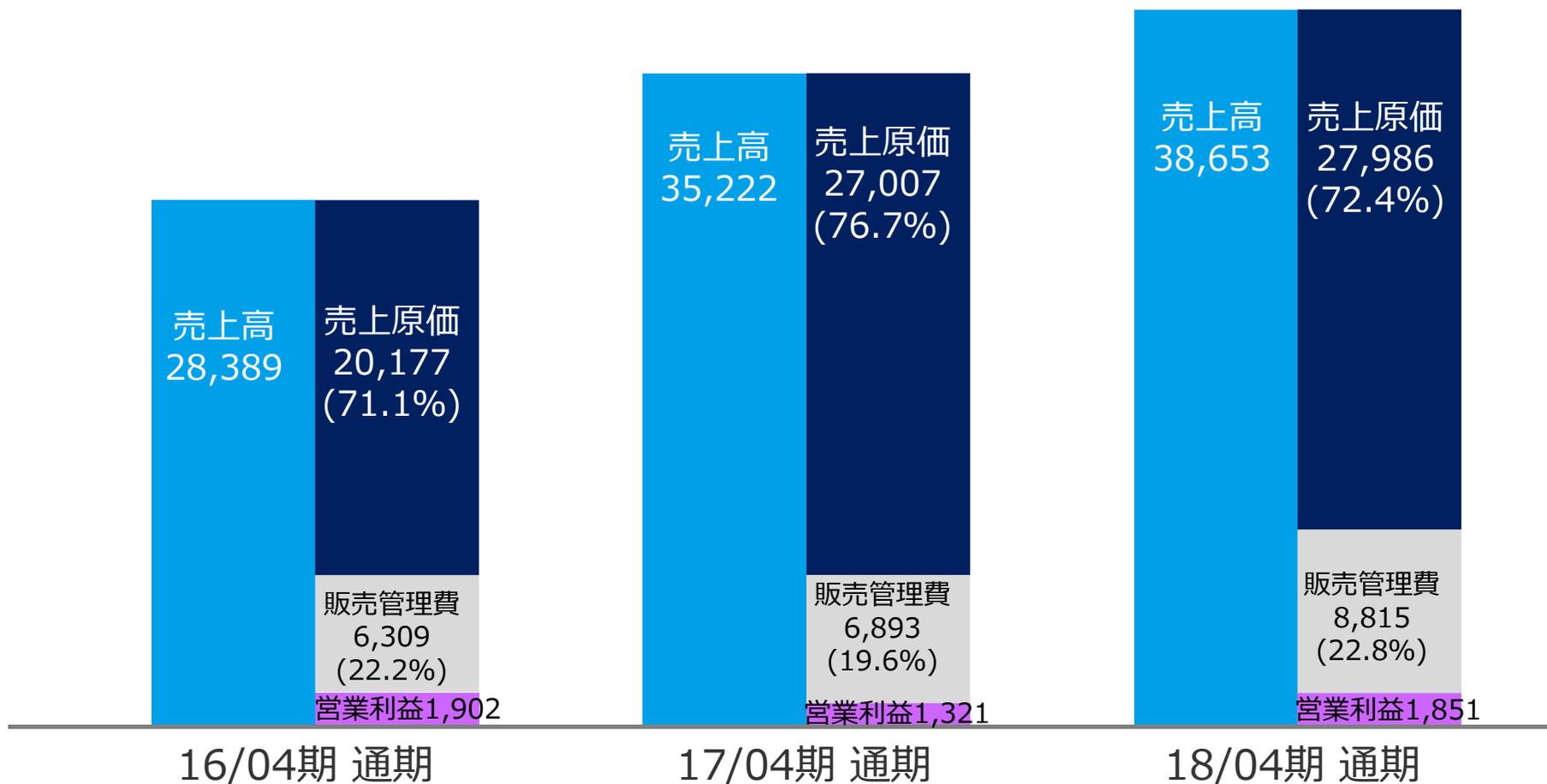
注力事業への先行投資を実施するも、マンションインターネット及びアドテクノロジー事業の継続的成長により前期比40.1%増を達成

(単位：百万円)



注力事業への投資により販売管理費が増加するも**売上総利益は29.8%増(24.5億円増)**となり投資効果が現れつつある

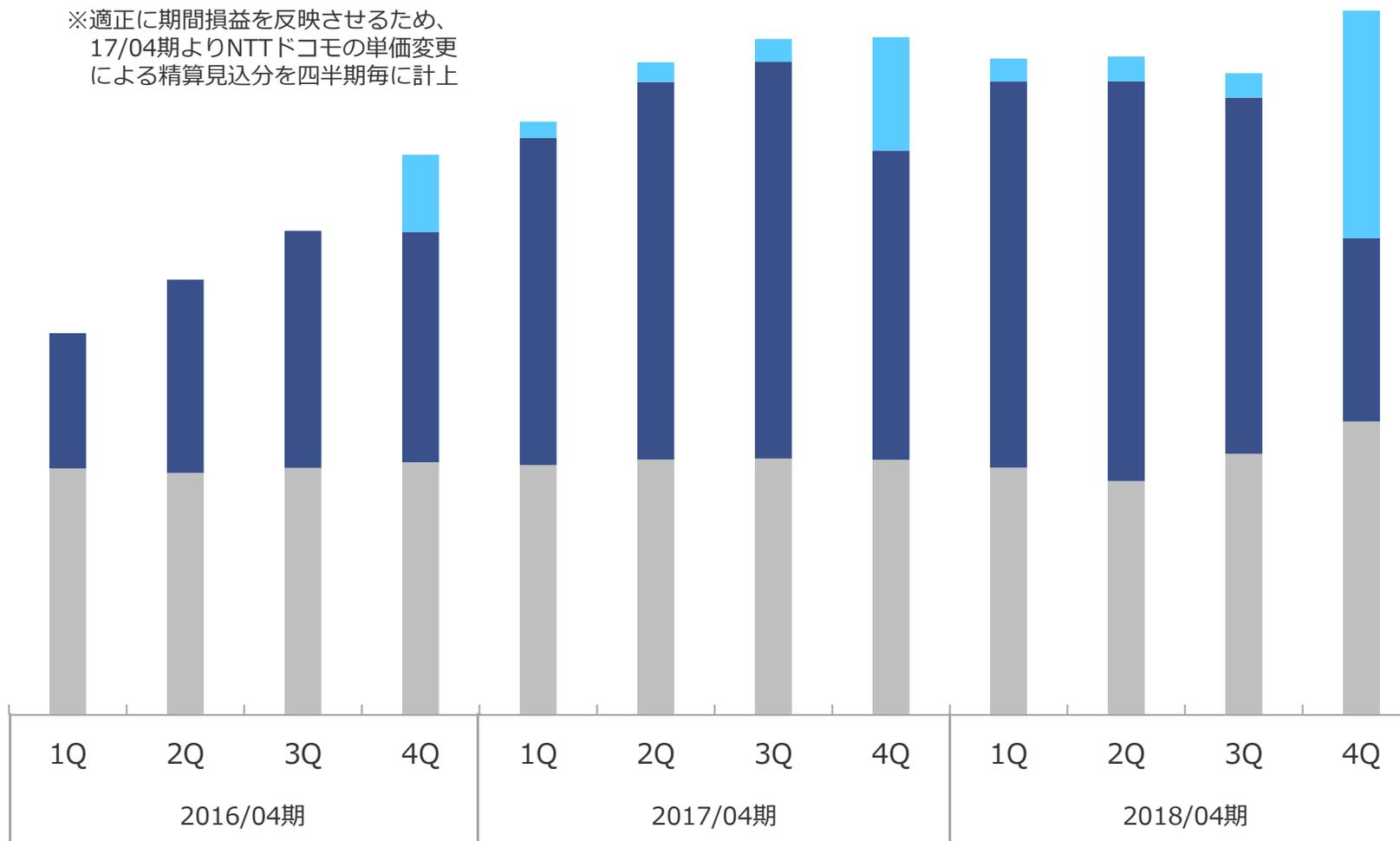
(単位：百万円)



ネットワーク関連費用推移

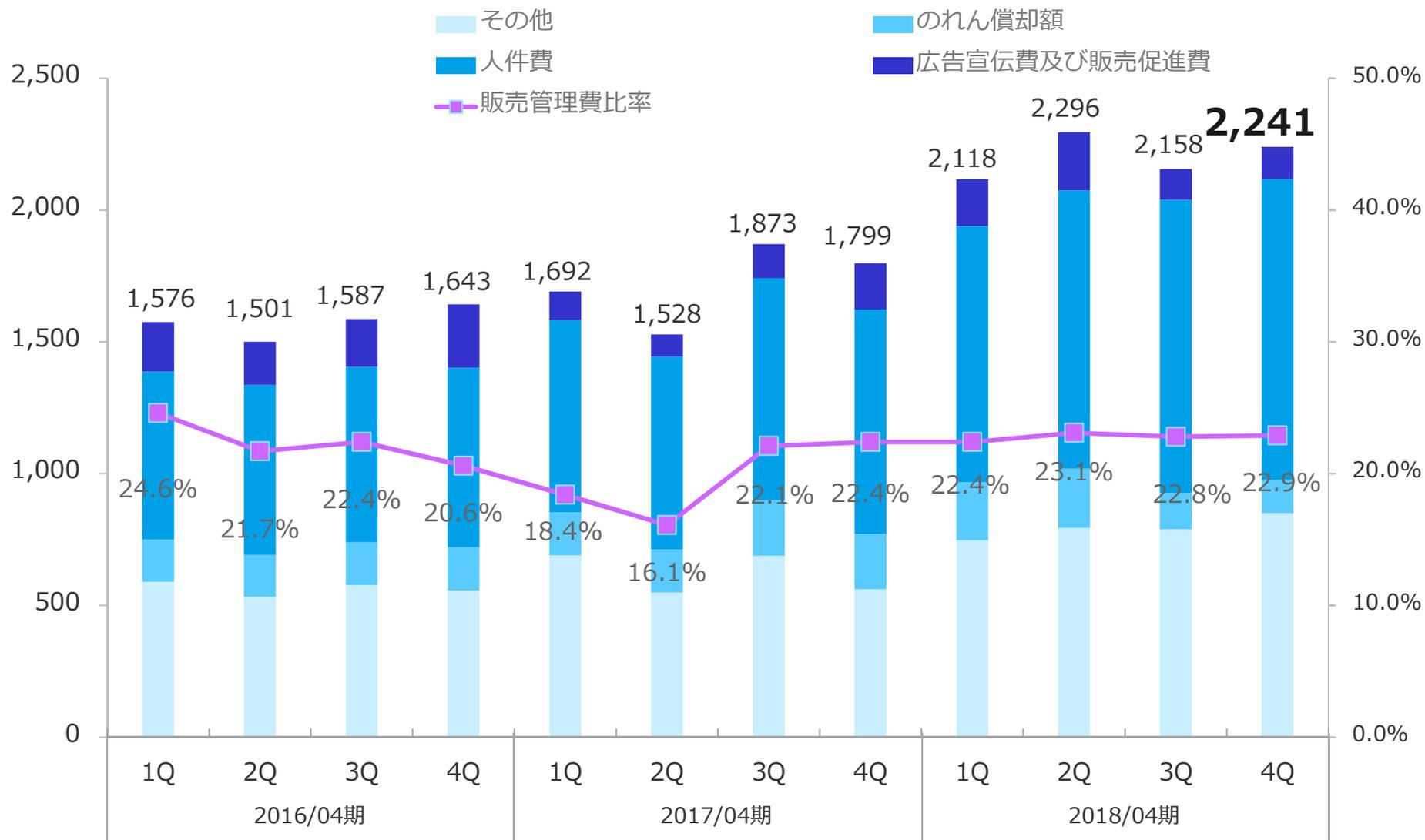
- 固定網
- モバイル
- NTTドコモの単価変更による精算分

※適正に期間損益を反映させるため、
17/04期よりNTTドコモの単価変更
による精算見込分を四半期毎に計上



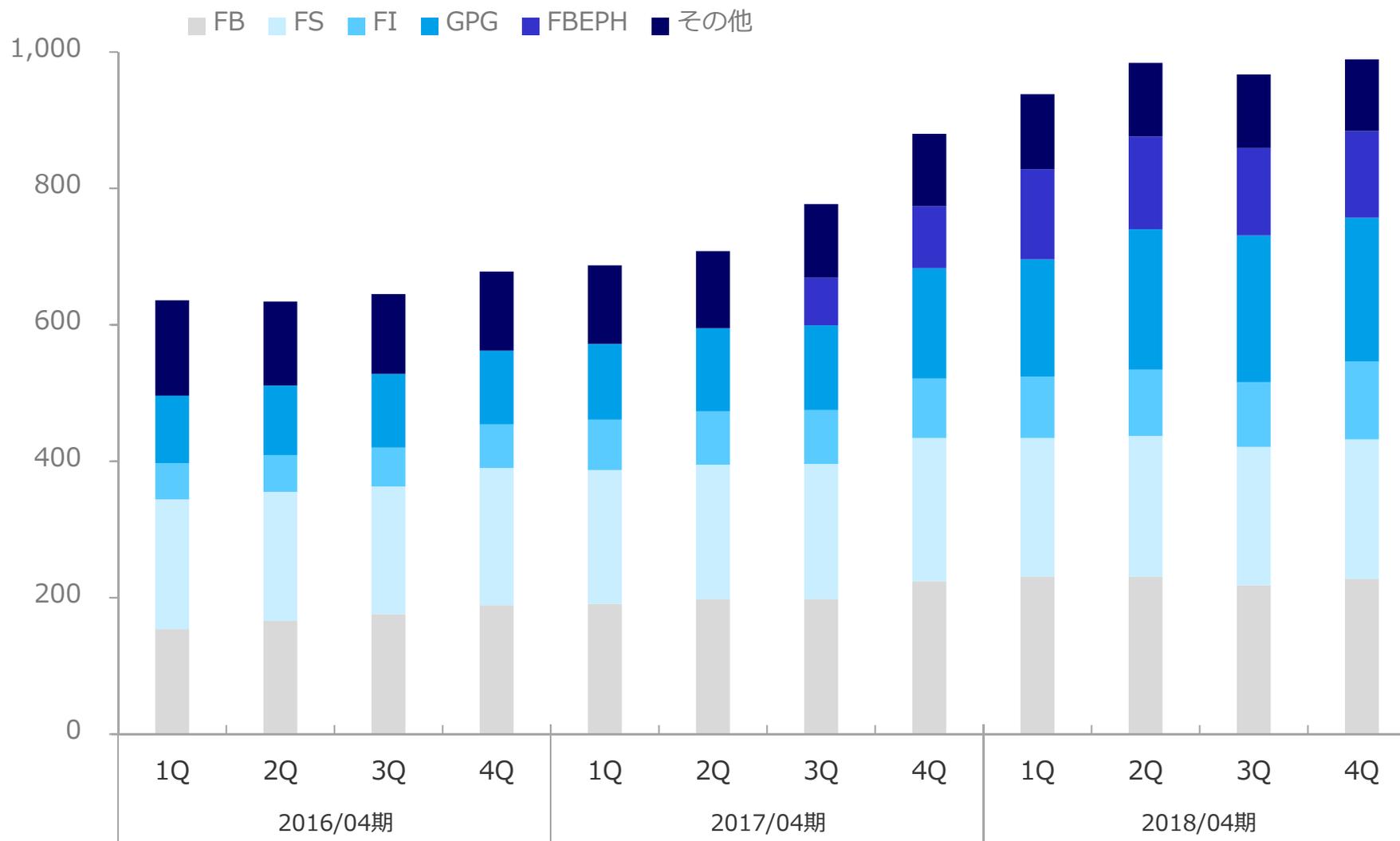
GPG及びFBEPH人員増等により販管費増

(単位：百万円)



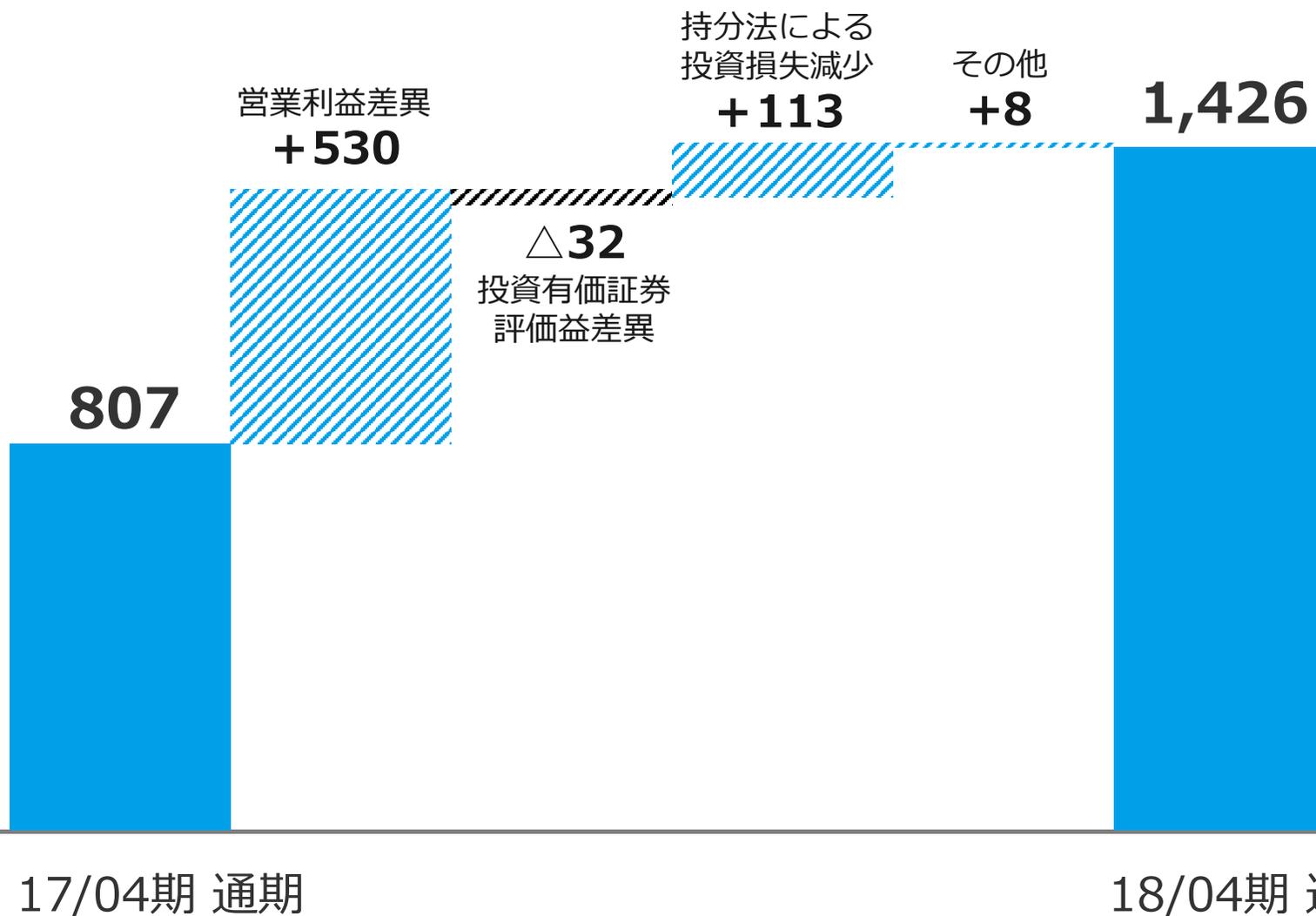
事業拡大により人員体制強化を実施

(単位：人)



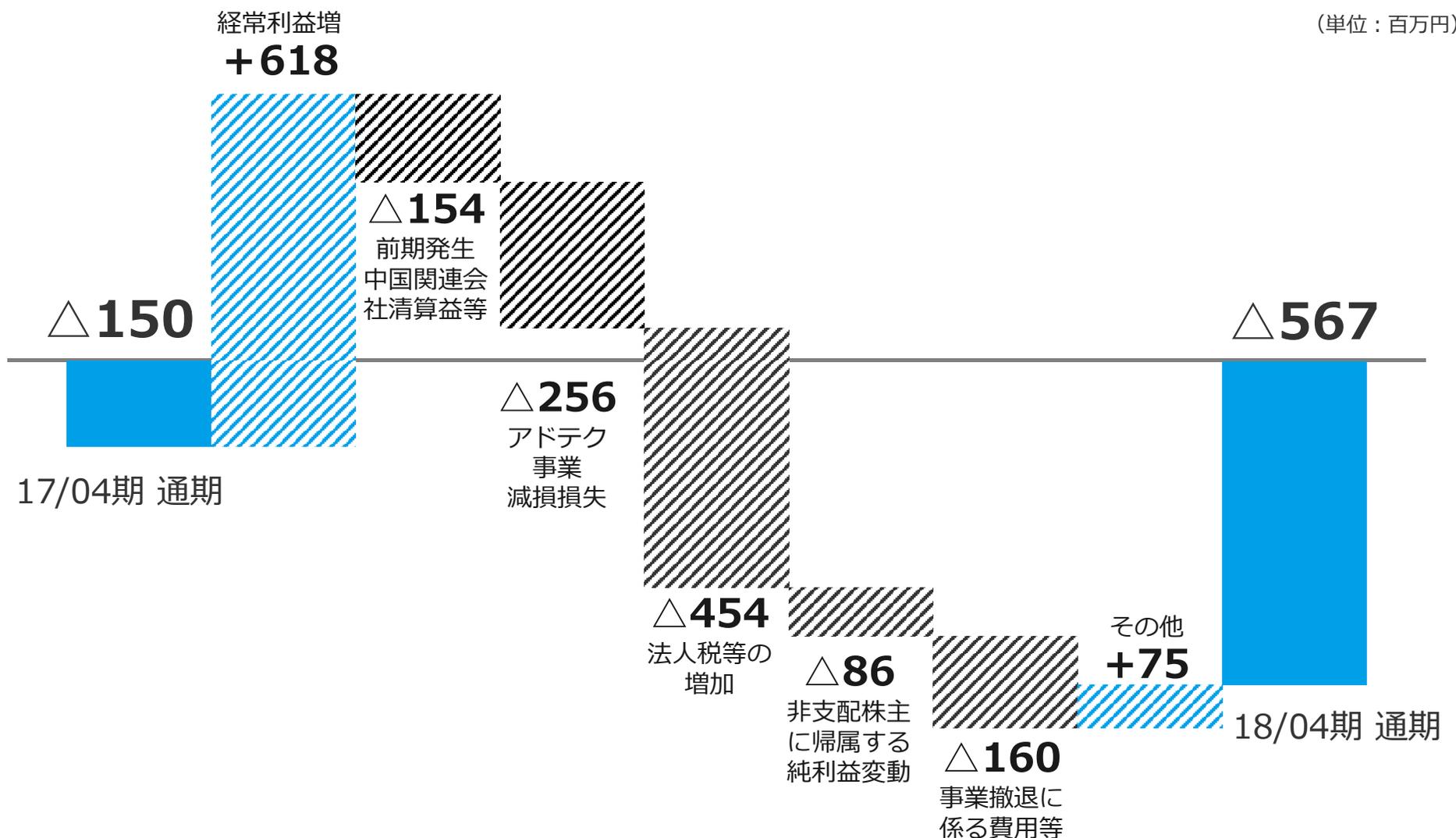
営業利益増等により、前期比76.6%増

(単位：百万円)



前期比差異分析 親会社株主に帰属する当期純利益

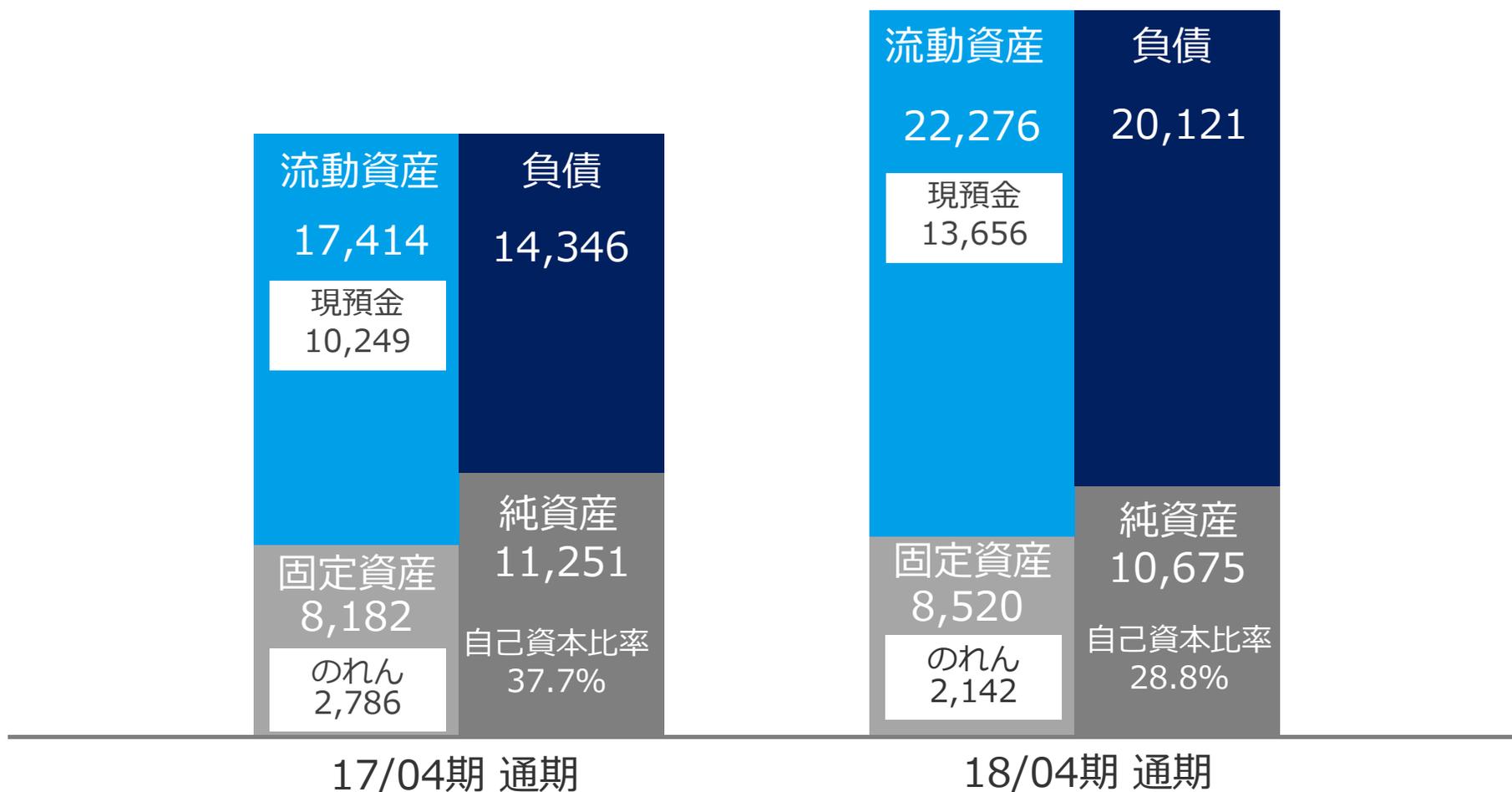
法人税等の増加やアドテクノロジー事業の減損損失発生等により、
前期比416百万円減少



現預金33.2%増、のれん23.1%減、純資産5.1%減

さらなる成長に向け予定通り借入れを実行し、手元資金を強化

(単位：百万円)



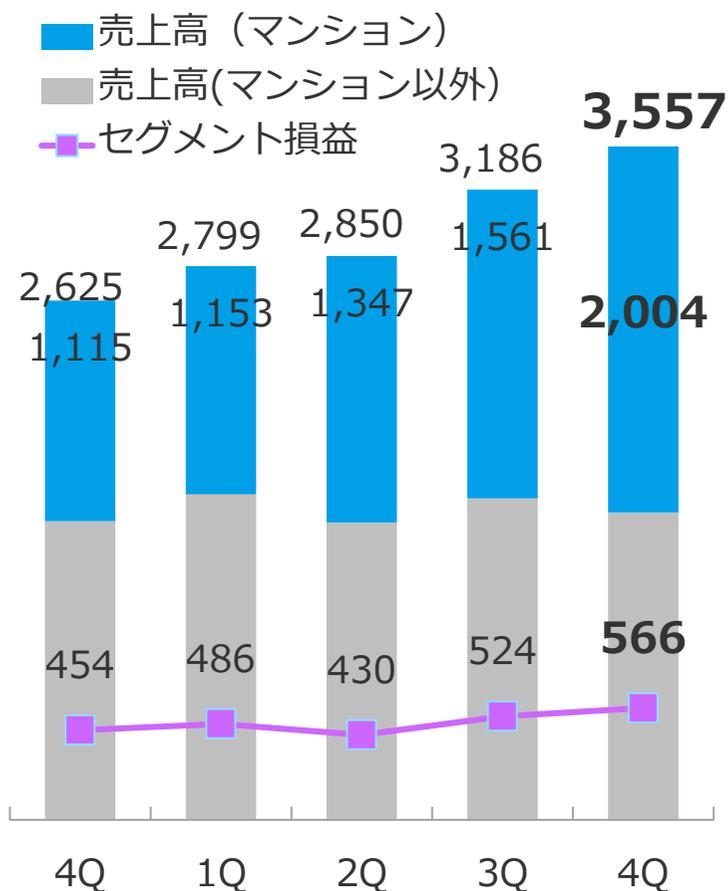
2. 2018年4月期 通期セグメント別業績及び事業進捗

前年同期比 売上高23.1%増、セグメント損益18.5%増

マンションインターネット及び光コラボ施策が堅調に推移し増収増益

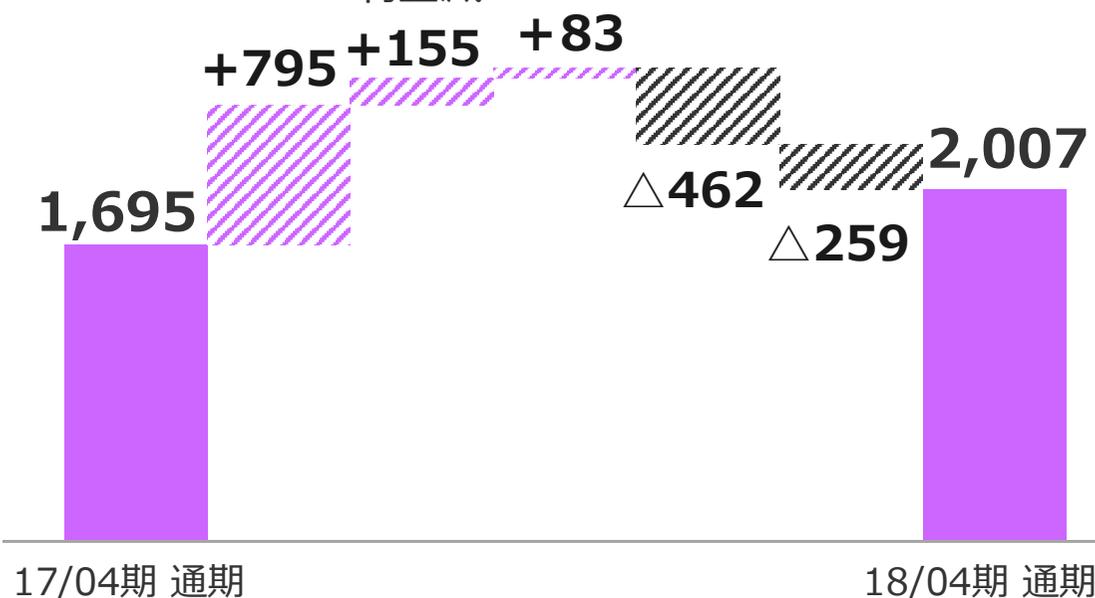
(単位：百万円)

売上高・セグメント損益

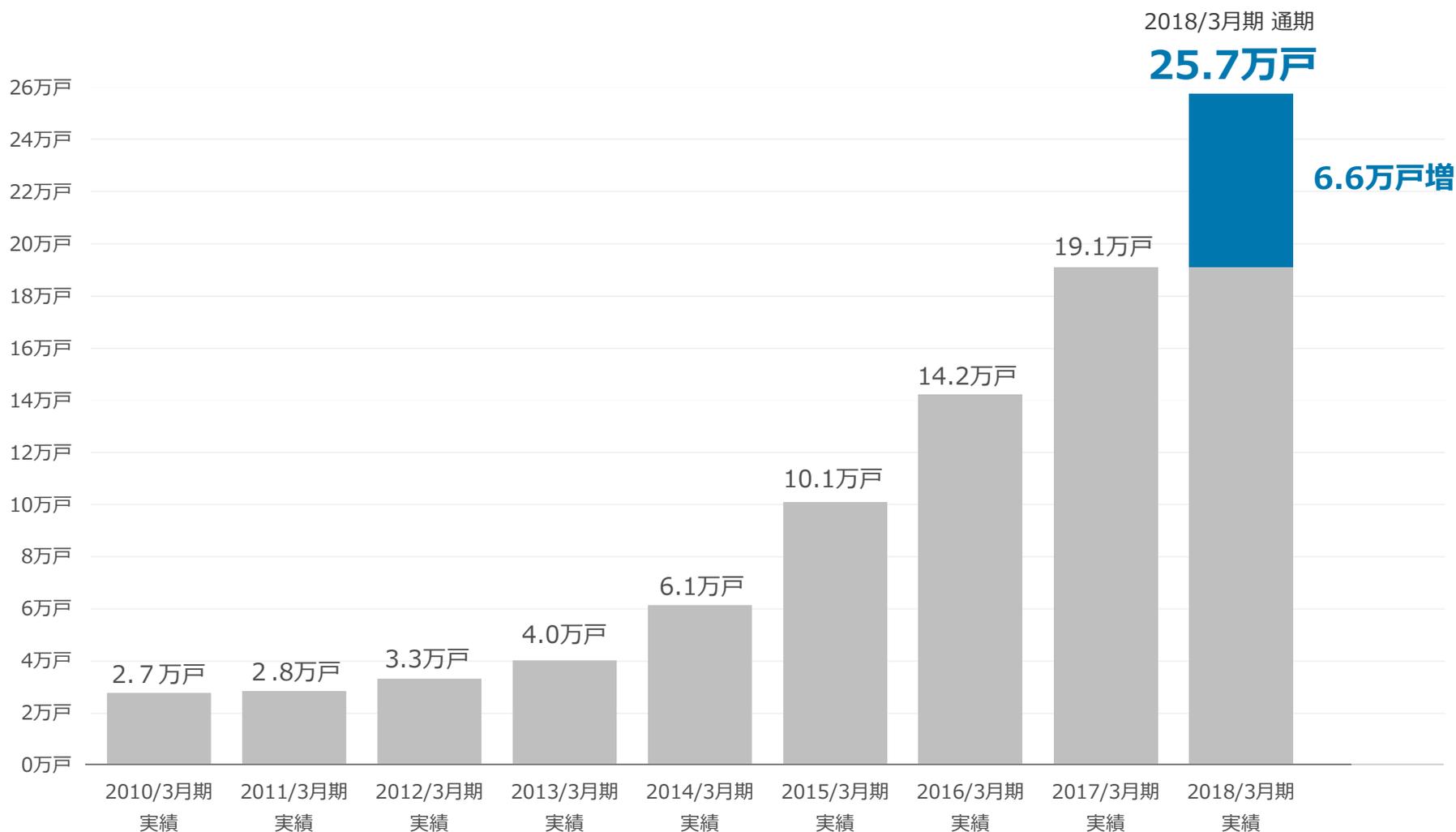


セグメント損益前期比差異分析

- +795 マンションインターネット売上増
- +155 その他売上増
- +83 光コラボ施策売上増
- △462 その他販管費増等
- △259 イオンハウジング事業先行投資による利益減



サービス提供戸数は前期から6.6万戸増の25.7万戸を達成



不動産TechのIoT戦略に向けて、戦略的に資本業務提携を実施

■ 3月8日プレスリリース：IoTプラットフォームサービスを今春提供開始

2017年5月に業務提携契約を締結した株式会社Live Smartの「LiveSmart」と株式会社ユーエムイーのネットワークを利用した遠隔操作スマートロック「LINKEY」を併せたIoTプラットフォームサービスの初の案件として、企業間取引（BtoB）での提供を開始

■ 3月29日プレスリリース：スマート賃貸住宅の実証試験を開始

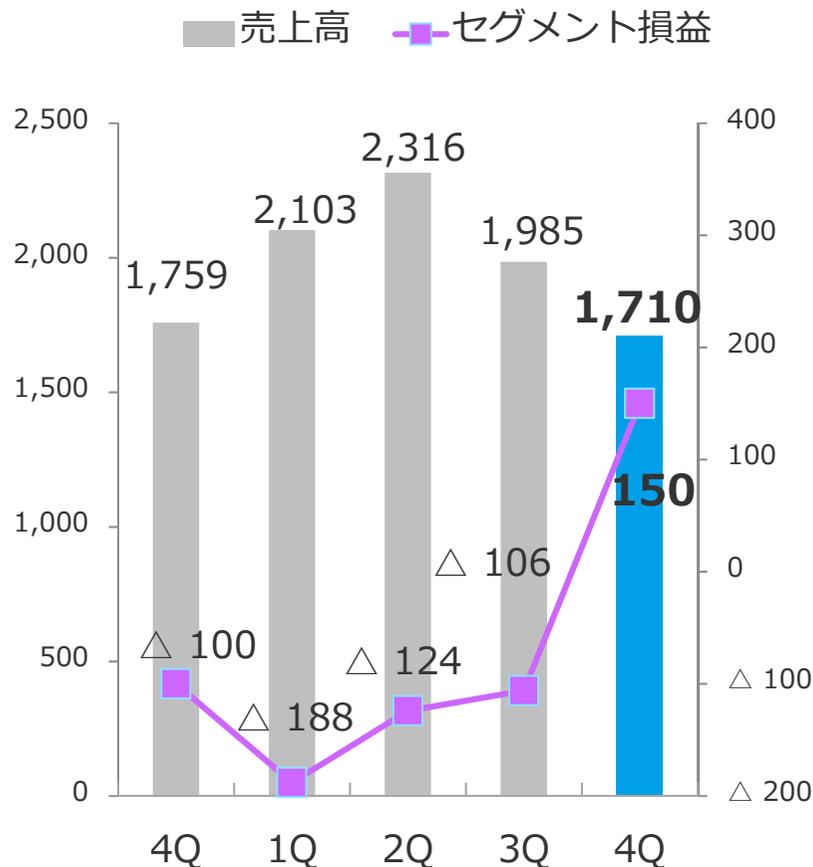
2018年3月30日より、大東建託株式会社と東京電力パワーグリッド株式会社とともに、IoTプラットフォームを活用し、賃貸住宅をスマートホーム化することにより得られる生活上のあらゆる情報を連携させ、暮らしをより便利にする業界初のスマートライフサービスを提供する、スマート賃貸住宅の実証試験を開始



IP電話サービスやDTI SIMの収益改善に加え、NTTドコモの単価変更による精算により4Qは黒字。今後も回復基調へ

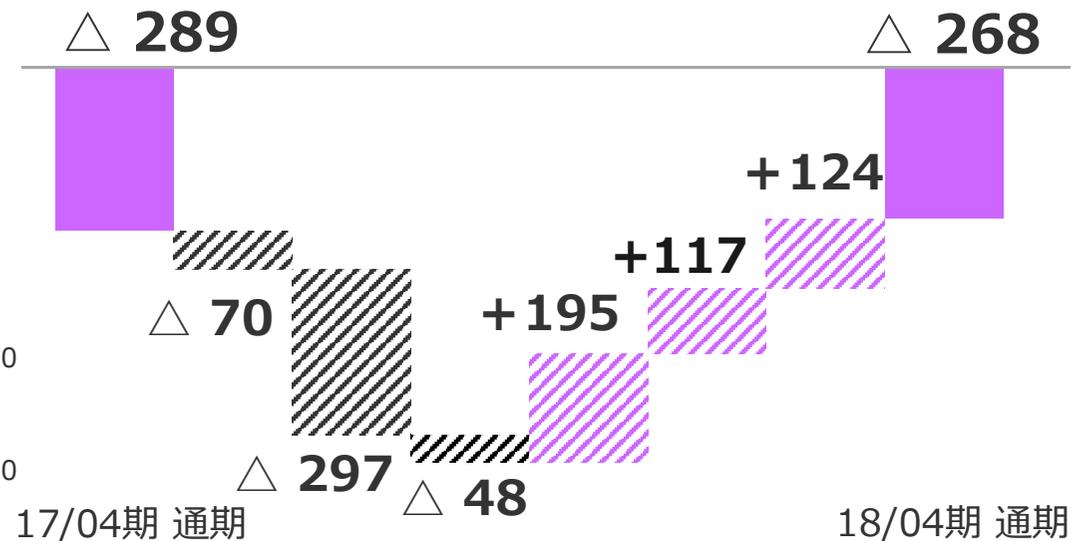
(単位：百万円)

売上高・セグメント損益



セグメント損益前期比差異分析

- △70 SIM発行手数料減等
- △297 スマホ端末売上減等
- △48 配賦費用等増
- +195 IP電話サービス利益増
- +117 DTI SIM粗利増等
- +124 販促費抑制等による利益増



ビジネスフォン「モバビジ」の拡販を強化

法人向けハイブリッド・クラウドビジネスフォン「モバビジ」



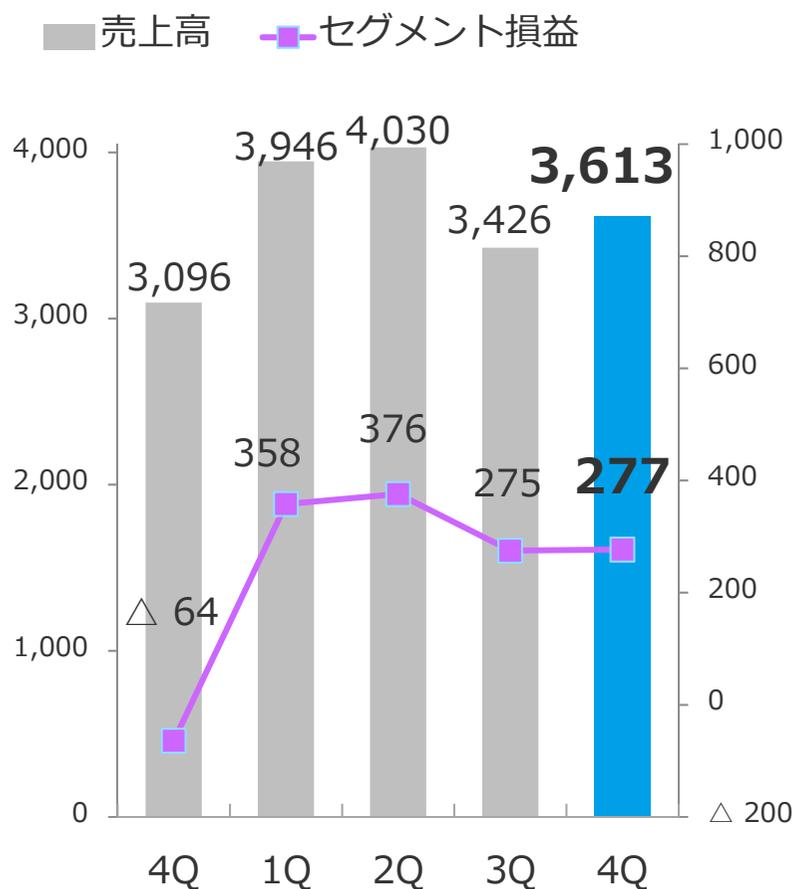
前年同期比 売上高5.1%増、セグメント利益53.4%増

DSP広告、アフィリエイト広告及びソーシャルメディアマーケティングが収益に貢献

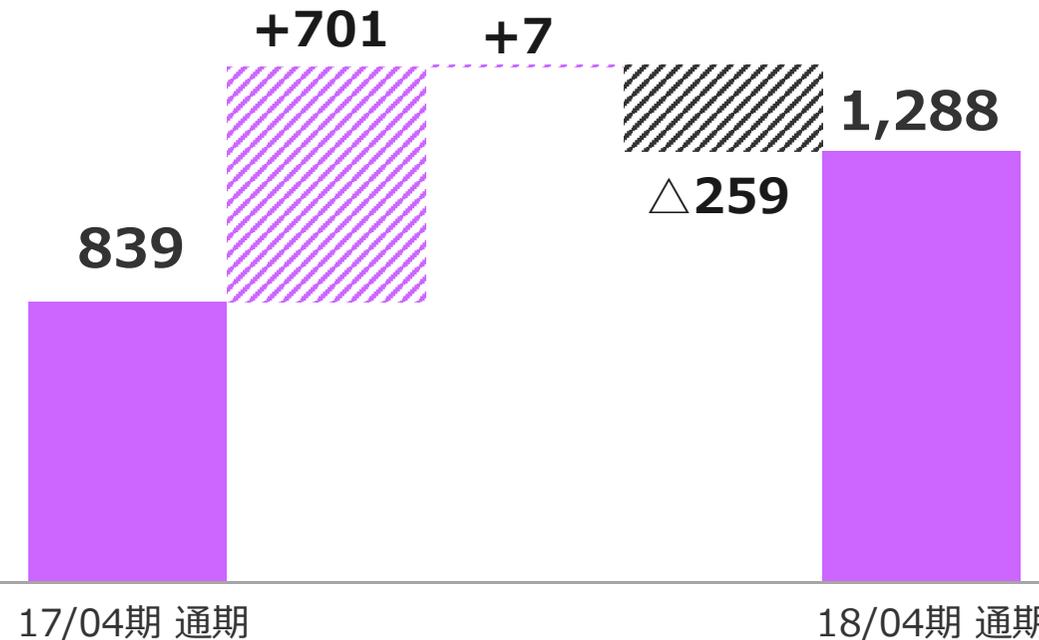
(単位：百万円)

売上高・セグメント損益

セグメント損益前期比差異分析



- +701** FSG売上増加に伴う粗利増
- +7** FSG貸倒引当金繰入額減少による利益増
- △259** FSG販売管理費増等による利益減



DSP・動画アドネットワーク事業を牽引するテクノロジー・カンパニー

株式会社カームボールドを「株式会社クライド」に社名変更。DSPを中心としたアドテクノロジー事業を分割吸収することで、グループ全体のテクノロジーリソースを集約

2018年5月～



独創するテクノロジーカンパニー

ADMATRIX事業

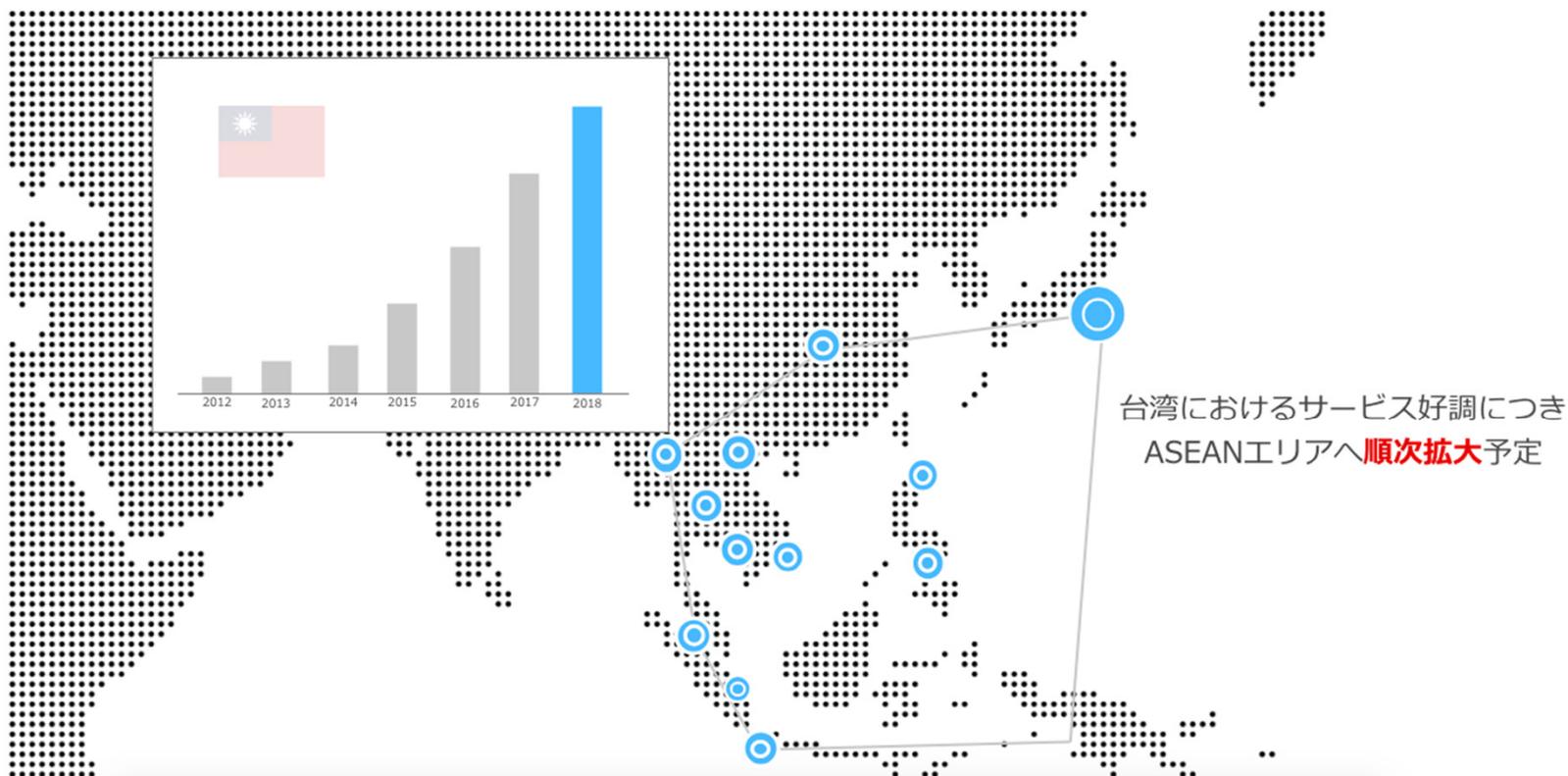


PolymorphicAds事業



フォーイト、台湾におけるサービスが好調

オンライン広告市場の成長著しいアセアン諸国へ本格展開 **ASEAN NO.1** 目指す



需要拡大に伴い、ソーシャルメディアマーケティング売上が堅調に伸長

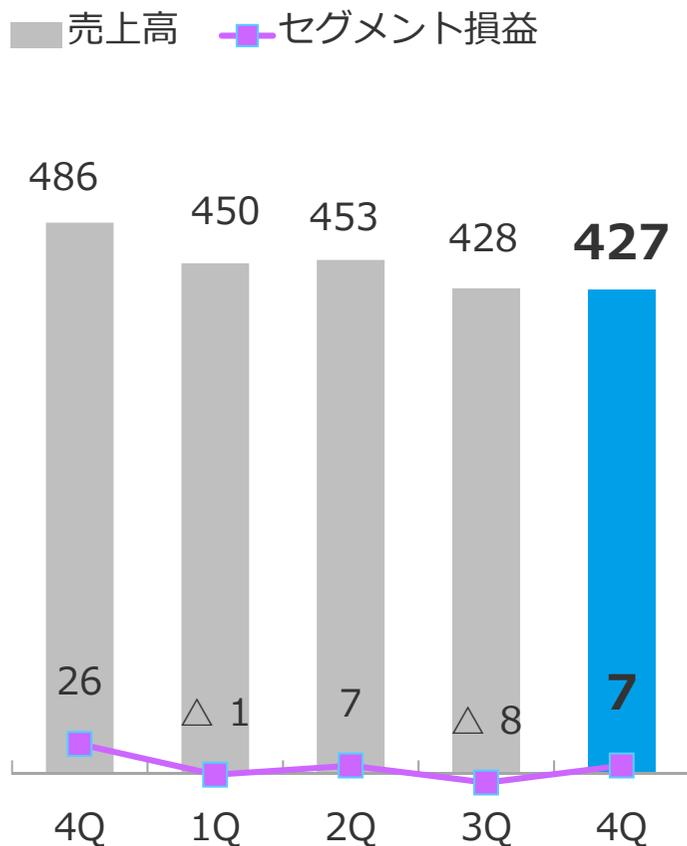
海外関連（インバウンドPR・アウトバウンドPR）も豊富なノウハウ・ソリューションを提供
2020年オリンピックに向けて更なる盛り上がりを見込む



ギガプライズのESP吸収合併に伴う按分費用が増加

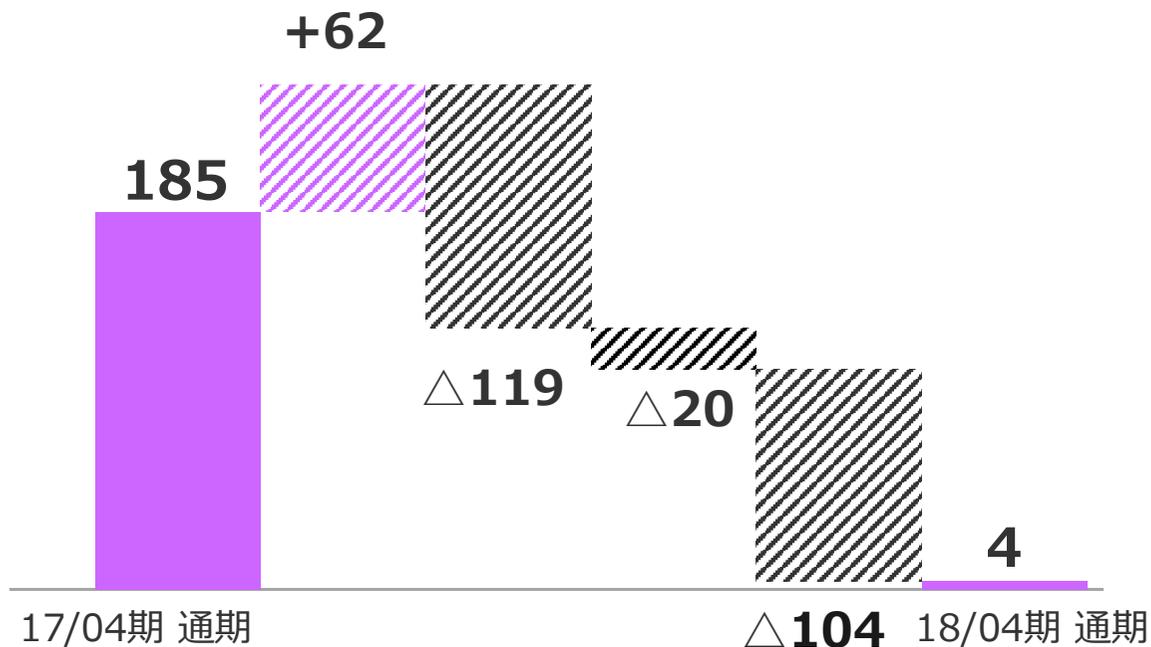
(単位：百万円)

売上高・セグメント損益



セグメント損益前期比差異分析

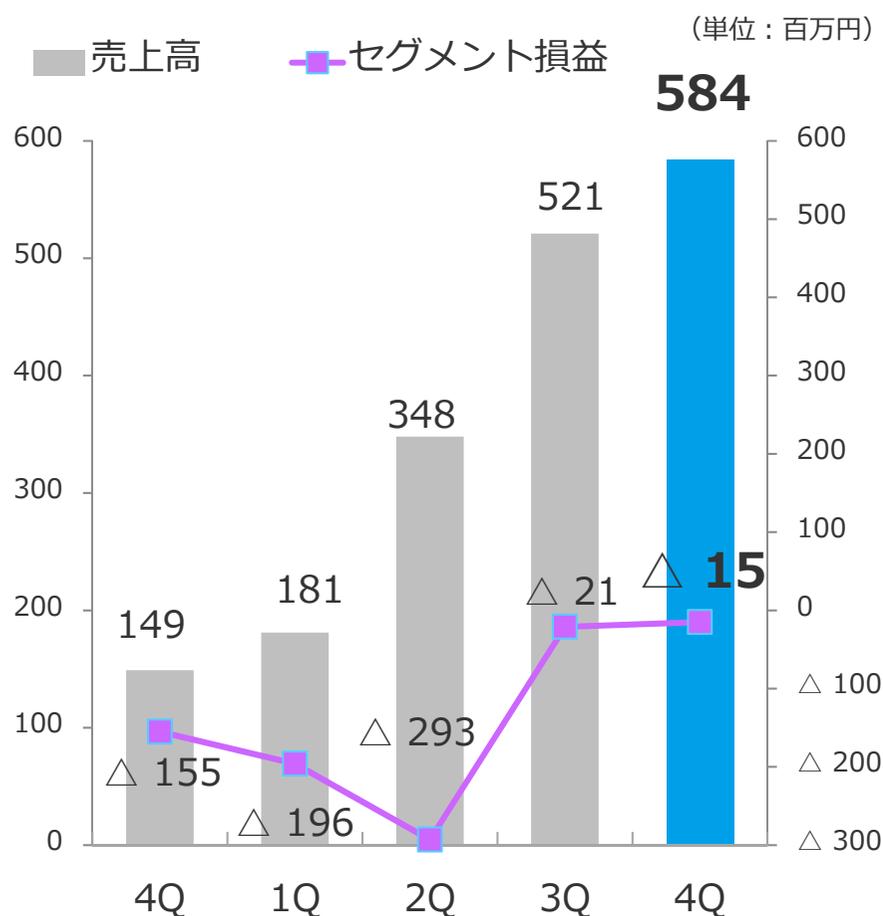
- +62 コスト改善による利益増
- △119 取引先サービス終了に伴う利益減
- △20 新規サービス開始にかかる費用増
- △104 ESPの吸収合併に伴う按分率変更による費用増



事業開始以降売上高は順調に推移 フリービットEPARKヘルスケアは3Qに引き続き黒字を達成

さらなる売上拡大に向けて、サービス拡充及び体制強化へ投資を実行中

売上高・セグメント損益



ヘルステックサービスの拡充



EPARKお薬手帳



Pharmacy Support

MEDIP P
Basic

コメットケア



※事業開始が前第3四半期のため、前年同期（累計）との比較は省略

ヘルステック事業進捗

ヘルステック事業拡大に向けて、戦略的に契約を締結

売上高業界第2位の介護施設運営会社にサービスを提供している介護記録システム事業を譲受

TEAC・Onkyo Group



ティアック オンキヨー ソリューションズ 株式会社

コメントケア



毎日、発明する会社

フリービットEPARKヘルスケア、神戸デジタル・ラボと合併会社の設立に合意



合併会社
「株式会社介護サプリ」



EPARKお薬手帳は累計ダウンロード数24万件を突破

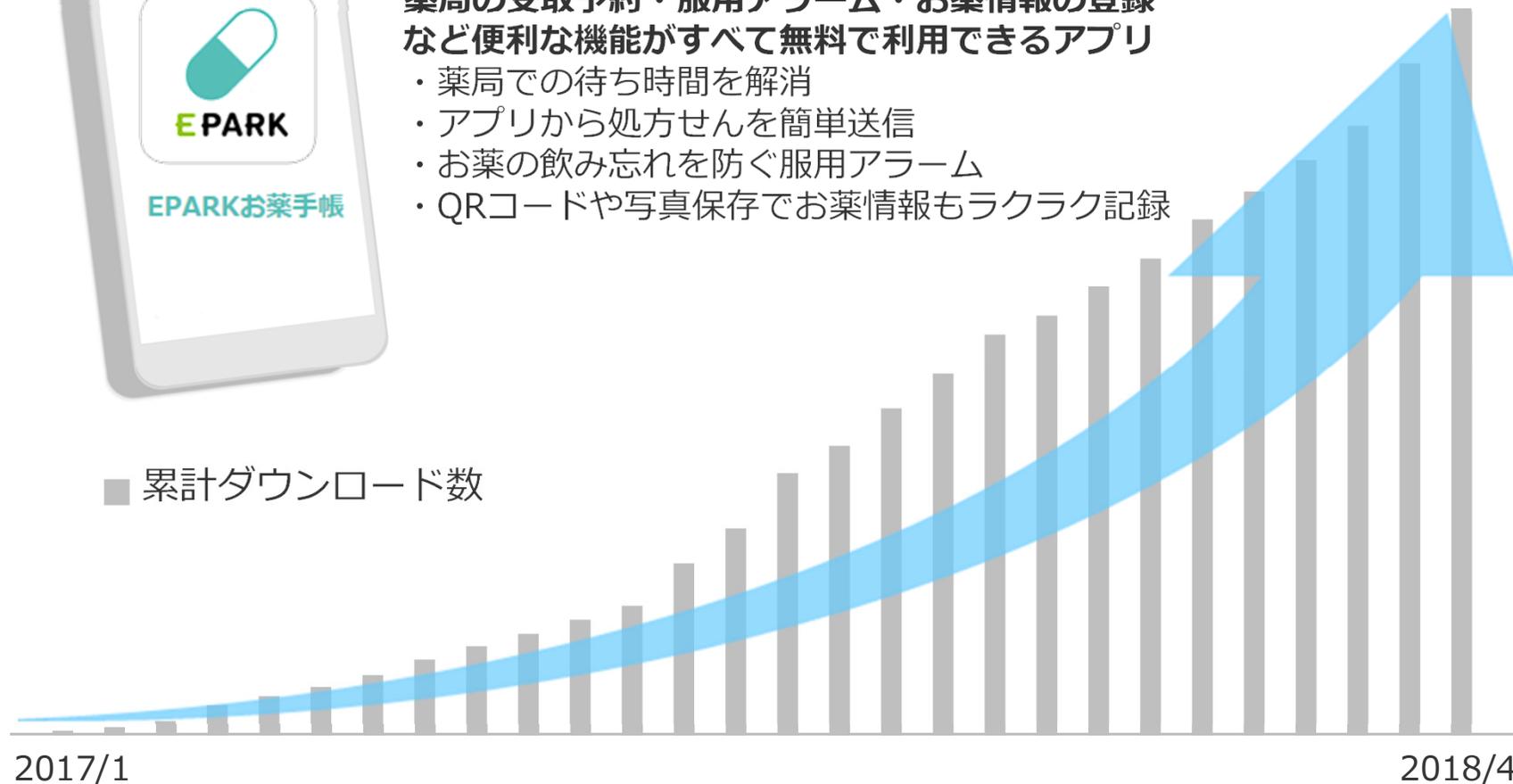


EPARKお薬手帳

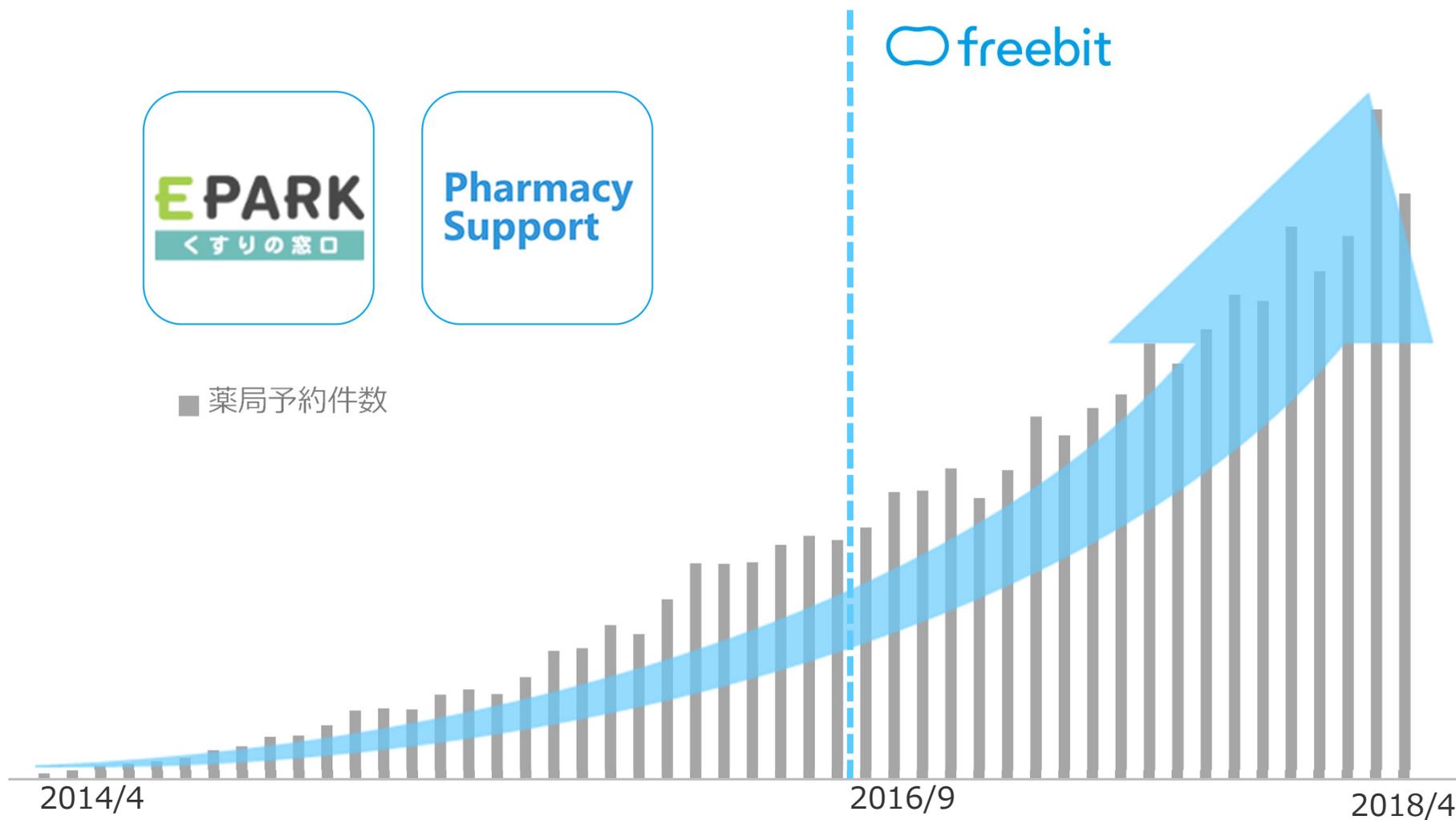
薬局の受取予約・服用アラーム・お薬情報の登録など便利な機能がすべて無料で利用できるアプリ

- ・薬局での待ち時間を解消
- ・アプリから処方せんを簡単送信
- ・お薬の飲み忘れを防ぐ服用アラーム
- ・QRコードや写真保存でお薬情報もラクラク記録

24万超



月間薬局予約件数は順調に推移

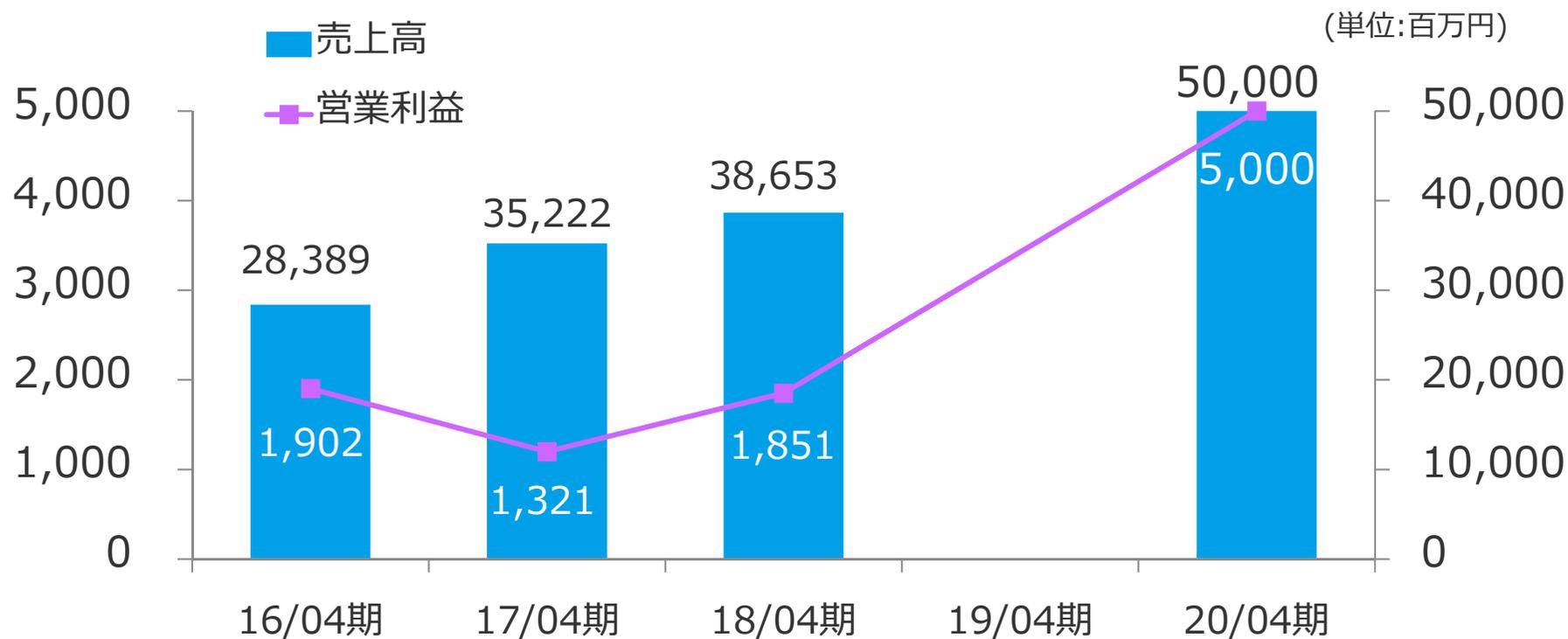


3. 2019年4月期 連結業績予想

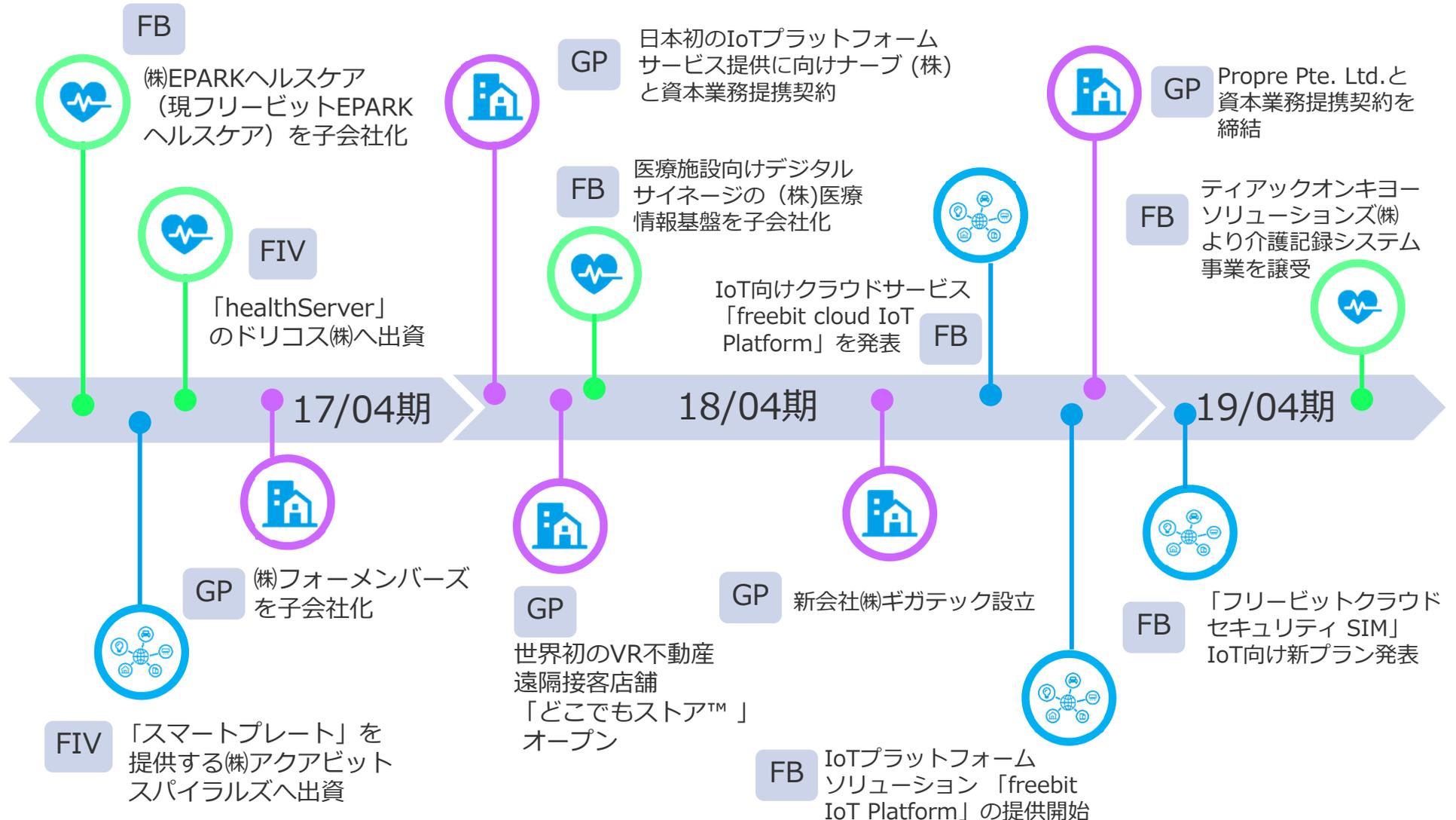
Being The NET Frontier!

インターネットをひろげ、社会に貢献する

フリービットグループ 2020年4月期業績目標 連結売上高**500億円**・連結営業利益**50億円**企業を目指す



「HealthTech」「IoT」「不動産Tech」に注力し市場拡大を図る



| (単位：百万円) | 2019年4月期 通期予想 | 2018年4月期 通期実績 | 前期比 |
|---------------------|------------------|------------------|---------|
| 売上高 | 45,000 | 38,653 | +16.4% |
| 営業利益 | 2,500 | 1,851 | +35.0% |
| 経常利益 | 2,350 | 1,426 | +64.8% |
| 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 250 | △567 | +817百万円 |

収益拡大TOPICS

- ・ マンションインターネット事業の更なる伸張
- ・ 法人向けハイブリッド・クラウドビジネスフォン「モバビジ」の本格展開
- ・ アドテクノロジー、アフィリエイト、SNS関連広告事業の継続的拡大
- ・ フリービットEPARKヘルスケアをコアとしたヘルステック事業シナジーの創出

投資TOPICS

- ・ 不動産向けIoT事業の伸展を見据えた事業リソースの拡充とサービス提供先の開拓
- ・ ヘルステック事業の領域拡大を企図した新たなサービスの開発及び営業リソースの獲得
- ・ トラフィックの大容量化に向けたバックボーン更改開始

2019年4月期 業績予想

| (単位：百万円) | 売上高 | | | セグメント利益 | | |
|----------------|----------------|----------------|---------|----------------|----------------|-------------|
| | 19/04期 通期予想 | 18/04期 通期実績 | 前期比 | 19/04期 通期予想 | 18/04期 通期実績 | 前期比 |
| ブロードバンド 事業 | 14,973 | 12,393 | +20.8% | 990 | 2,007 | △50.7% |
| モバイル事業 | 7,344 | 8,115 | △9.5% | 183 | △268 | +451 百万円 |
| アドテクノロジー 事業 | 17,520 | 15,016 | +16.7% | 1,637 | 1,288 | +27.1% |
| クラウド事業 | 1,796 | 1,759 | +2.1% | △7 | 4 | △11 百万円 |
| ヘルステック事業 | 3,536 | 1,636 | +116.1% | 152 | △527 | +680 百万円 |

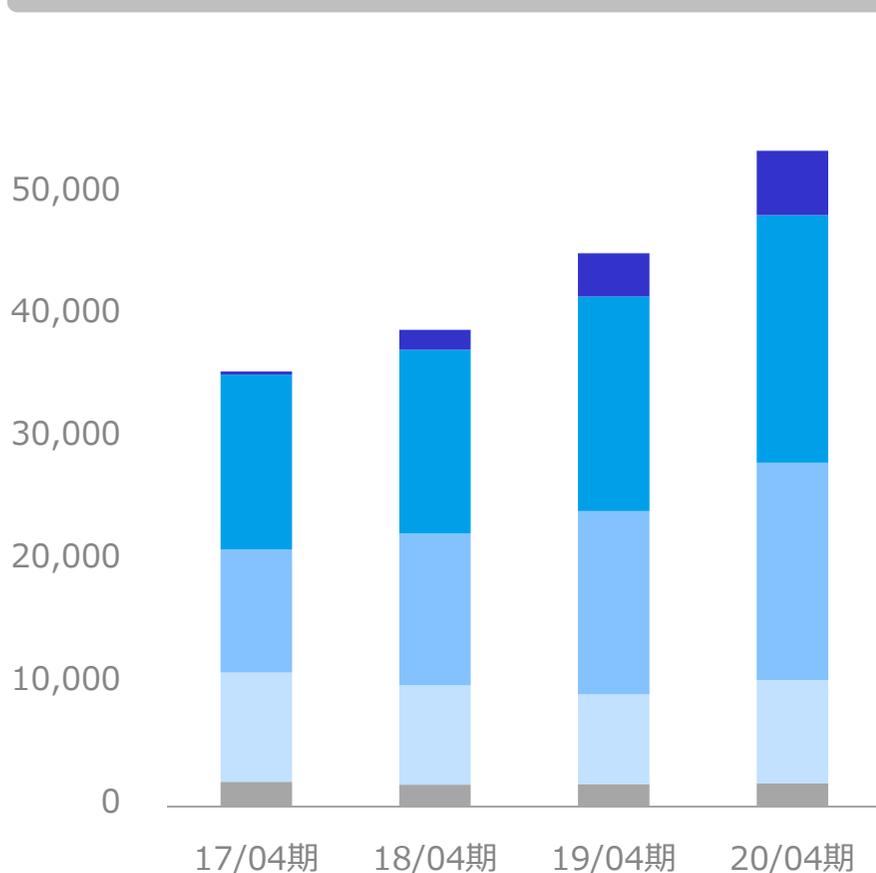
※19/04期のブロードバンド事業は、売上高は増加する見通しであるものの、
バックボーン更改及び不動産Techへの先行投資により対前期比では減益の見込み

20/04期に向けて、事業基盤拡大に投資をしながら利益増加を目指す

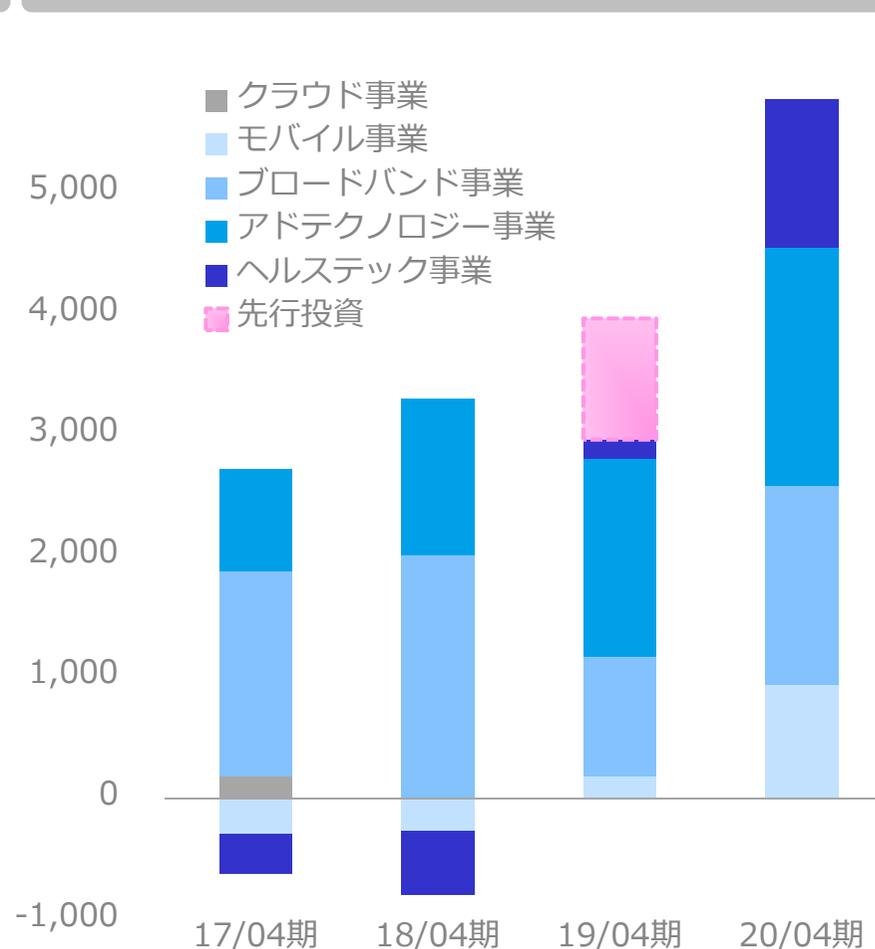
ヘルステック事業の新たなサービス、不動産Tech及びバックボーン更改に対し
先行投資を実施

(単位：百万円)

売上高



セグメント利益

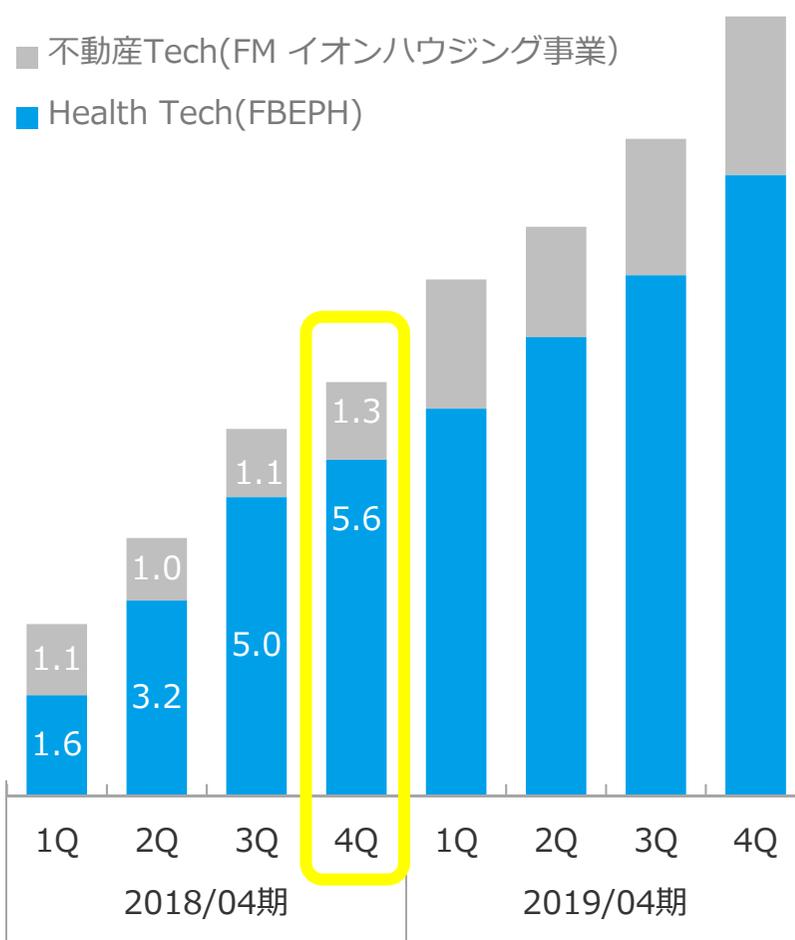


注力事業への投資実績と今後の見通し

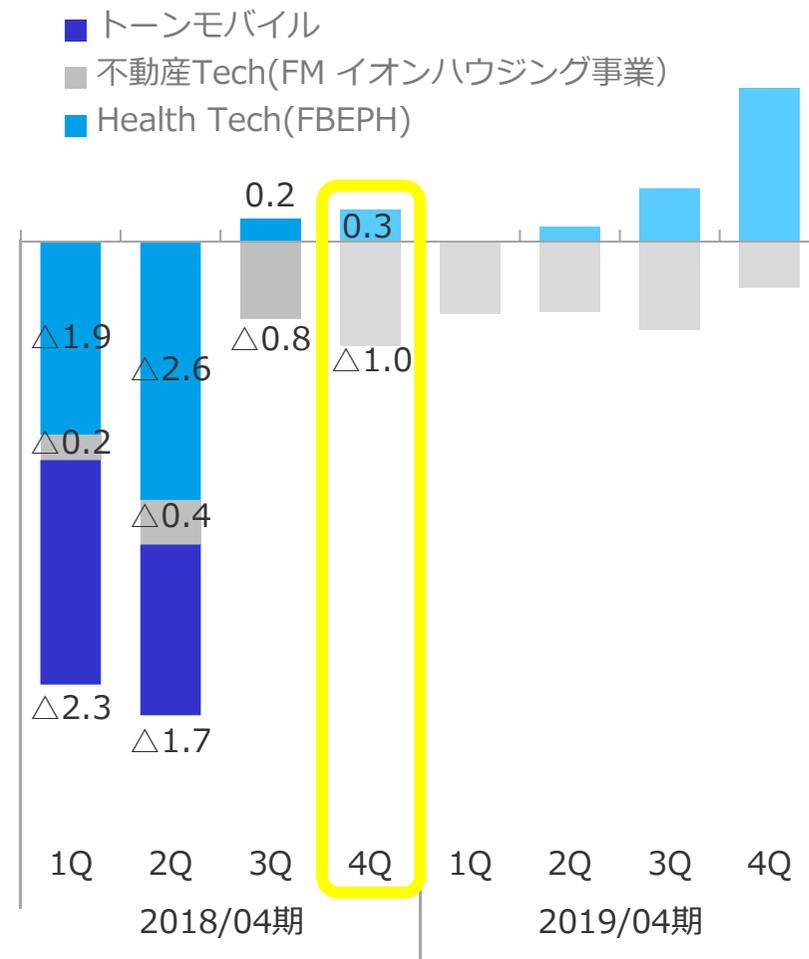
FBEPHについては黒字転換を達成。今期は増収増益となる見通し

(単位：億円)

売上高に与える影響額



利益に与える影響額

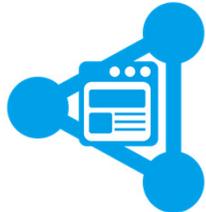


■ヘルステック事業



- フリービットEPARKヘルスケアのさらなる成長のための投資を継続することで上期は赤字を見込むものの**メディアのPV数、集客数及び提携薬局数の継続した成長を図る**
- フリービットEPARKヘルスケアの継続的成長に加え、ヘルステック事業の新たなサービス（患者向け情報提供サービスMEDIP P Basic、コメントケア及び介護業務総合支援アプリ等）の早期黒字化を目指す

■アドテクノロジー事業



- フリービットグループの事業リソースを活かしたアドテクノロジープロダクトによる展開を強化
- アドテクノロジーと優位性の高いアフィリエイト・プラットフォーム「afb」による**新たな付加価値を創造する**
- インターネットマーケティングに関するノウハウや人材を活用した**外部企業とのアライアンス戦略を推進する**

■ブロードバンド事業



- マンションインターネットは、提携先大手ハウスメーカー向け提供戸数の増加とともに、付加価値を提供できるIoTサービスの拡充と展開を図ることでさらなる売上拡大を狙う
- バックボーン更改への投資を実行し、**今後の通信トラフィック増に向けて積極的な対応を図る**

■モバイル事業



- モバイル市場における競争は激化しつつもMVNO市場は成長基調が継続しているため、引き続き**OEMの推進と個人ユーザーの積極的な獲得によってシェア拡大**を図る
- **法人向けハイブリッド・クラウドビジネスフォン「モバビジ」の拡販を強化**。ニーズに応えPanasonic製最新IP電話機の導入等、サービスの拡充をはかり、更なる売上拡大を目指す
- IoT市場向けSIMサービスの拡販により売上拡大を狙う

■クラウド事業



- モバイルサービス「フリービットクラウド セキュリティSIM」のIoT向けプランの拡充や**セット販売の展開により、注力商材「フリービットクラウドVDC」を中心としたクラウドサービスやネットワークセキュリティサービスの拡販を推進**
- 大手SIerと協業し、日本市場特有のニーズに合致したサービスの開発及び販売網の拡大を積極的に推進
- 新サービス閉域網接続サービス「Cloud Expansion」の拡販を推進。ユーザーニーズに合わせ、連携サービスの拡充を図る

本資料に記載されている当社の予想、見通し、目標、計画、戦略等の将来に関する記述は、本資料作成の時点で当社が合理的であると判断する情報に基づき、一定の前提（仮定）を用いており、種々の要因により、実際の業績はこれらの予想・目標等と大きく異なる可能性があります。本資料は、当社の事業戦略の説明資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

■ 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より、サービスの多様化による実態の変化に合わせ、ブロードバンド事業及びアドテクノロジー事業と区分していた売上及び費用の一部をモバイル事業に、ブロードバンド事業と区分していた売上及び費用の一部をクラウド事業に区分変更しております。そのため、前連結会計年度との比較については、当連結会計年度の区分に基づき行っています。

＜IR及び本資料に関するお問い合わせ＞

フリービット株式会社
グループ経営管理本部 IR担当
Email freebit-ir@freebit.net
WEB <http://freebit.com/>



毎日、発明する会社

※ すべてのブランド、製品名、会社名、商標、サービスマークは各社に権利が帰属します。